

〔平成20年度〕

肢体不自由児通園施設

職員用サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)

記入の手引き

■サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)の位置づけと構成

- (1) この「サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」は、別紙「組織マネジメント分析シート」のカテゴリー6「サービス提供のプロセス」をより詳細に評価するためのものです。
- (2) この「サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」は、6つのサブカテゴリーに分かれています。
そして各サブカテゴリーはさらに評価項目、標準項目と、よりサービスの具体的な内容が記述されています。

■評価の進め方

- (1) まず「標準項目」の内容を確認し、その結果を考慮しながら「評価項目」の評価を行っていただきます。
- (2) 評価は次の評点基準で行います。当てはまると思うところに○印をつけてください。

A 標準項目をすべて満たした状態
B 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
C 標準項目をひとつも満たしていない状態
N 知らない・分からない
- (3) 自分が直接関わっていない仕事についてもなるべく自分の考えで評価してください。
ただし、見当がつかないという項目については「知らない・分からない」のNに○をつけてください。

■回答シート

- (1) この「サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」で評価したうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
回答シートに記入していただいた内容は、第三者評価以外には使用しません。
- (2) この「サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」は、日常の業務点検などに活用していただければ幸いです。

カテゴリ6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリ1 サービス情報の提供

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-1-1 保護者等に対してサービスの情報を提供している	○	○	○	○	保護者が入手できる媒体で、保護者に事業所の情報を提供している
					保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
					事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
					保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している

サブカテゴリ2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-2-1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	○	○	○	○	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
					サービス内容や利用者負担金等について、保護者の同意を得るようにしている
					サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
6-2-2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	○	○	○	○	サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
					利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している
					サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
					サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている

サブカテゴリ3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-3-1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	○	○	○	○	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している
					子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
					アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
6-3-2 保護者の希望と関係者の意見を取り入れた個別の療育・支援計画を作成している	○	○	○	○	計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている
					計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得ている
					計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている
					計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
6-3-3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	○	○	○	○	子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある
					計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
6-3-4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	○	○	○	○	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している
					申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-4-1 個別の療育・支援計画に基づいてさまざまな取り組みを行っている	☐	☐	☐	☐	個別の療育・支援計画に基づいて支援を行っている
					子どもの特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している
					機能訓練を担当する専門職員からの情報に基づき、他の職員と協力して訓練等を提供し、生活に活かすようにしている
					退所後も必要な支援を行っている
6-4-2 おいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	☐	☐	☐	☐	子どもや保護者の希望や職員の意見を反映し、バラエティーに富んだ飽きのこない食事を提供している
					食事は子どもの状況に合わせ、提供している
					子どもの状態にあった用具等を用意して介助を行っている
					食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている
6-4-3 子ども一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている	☐	☐	☐	☐	排泄の支援は、子ども一人ひとりの健康状況や身体機能に合わせて行っている
					整容、移動の支援は、子ども一人ひとりの健康状況や身体機能に合わせて行っている
					支援は、子ども一人ひとりの主体性を尊重して行っている
					送迎は、子どもと保護者の必要に応えながら行っている
6-4-4 子どもの健康を維持するための支援を行っている	☐	☐	☐	☐	子どもの状態に応じた健康管理を行い、体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている
					服薬管理は誤りがないようチェック体制を整えている
					日常的に子どもの口腔ケアを行っている
6-4-5 子どもの意思を尊重し、施設での生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	☐	☐	☐	☐	子どもの状況や希望に沿って、生活を楽しめるような取り組みを行っている
					室内は、子どもの状況に応じて快適で落ち着ける環境・空間にしている
					日常生活においては、安全性や清潔面に配慮している
6-4-6 施設と保護者との交流・連携を図っている	☐	☐	☐	☐	必要に応じて、子どもの施設での様子を保護者へ知らせている
					保護者からの相談に対応する体制を整えている
					家族会等の自主的な運営を支援している
6-4-7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	☐	☐	☐	☐	地域の情報を収集し、子どもの状況に応じて提供している
					必要に応じて、子どもが地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している

サブカテゴリー 5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している	☐	☐	☐	☐	子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている
6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	☐	☐	☐	☐	日常の支援にあたっては、子どもの意思を尊重している(「ノー」と言える機会を設けている) 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている

サブカテゴリー 6 事業所業務の標準化

評価項目	評点				標準項目
	A	B	C	N	
6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	☐	☐	☐	☐	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	☐	☐	☐	☐	提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者からの意見や提案が反映されるようにしている 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
6-6-3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	☐	☐	☐	☐	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている